

# 交通ちば



VOL. 440 平成 27 年 1 月 1 日



千葉県交通安全活動推進センター  
公益財団法人千葉県交通安全協会



## 「交通安全県ちば」の実現を目指して

公益財団法人千葉県交通安全協会

会 長 安 藤 轟 勇

明けましておめでとございます。

平成 27 年の輝かしい新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

皆様方には、平素から地域における交通安全活動に深い御理解と多大なる御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当協会は、公益財団法人に移行し 4 年目を迎えます。この間、公益法人としての社会的使命を果たすため、県下 44 地区の交通安全協会と連携して、「みんなでつくる交通安全県ちば」をスローガンに、四季の交通安全運動における広報啓発活動をはじめ、各世代を対象にした交通安全教室の開催、自転車大会や街頭活動を通じて自転車の安全利用の促進、飲酒運転根絶に向けてのハンドルキーパー運動など多岐にわたる交通安全活動を推進してまいりました。

こうした中、昨年の県内における交通事故情勢につきましては、一昨年と比べて発生件数、負傷者数及び死者数は減少しましたものの、182 人の方の尊い命が失われ、依然として交通死亡事故多発県として推移しております。

交通死亡事故の特徴を見ますと、高齢者の占める割合が半数を超えており、また、夕方から夜間の時間帯にかけて多発し、さらに歩行中の事故も増加傾向にあります。

当協会としましては、こうした現況を踏まえながら、県民一人ひとりが交通ルールを遵守し、正しい交通マナーを実践するよう交通安全思想の普及高揚に努めるとともに、地区協会と連携して地域に密着した交通安全活動を推進し、「交通安全県ちば」の実現を目指して取り組んでまいる所存であります。

さらに、本年は、第 9 次千葉県交通安全計画の最終年度に当たりますので、県、警察をはじめとする関係機関の御指導を仰ぎながら、民間における交通安全活動の中核となつて、目標の達成に向け貢献してまいりたいと思っております。

つきましては、皆様方には本年も交通安全協会の活動に、より一層の御理解と御支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆様方の御健勝と御多幸をお祈り申し上げます。新年の挨拶といたします。



## 「安全・安心日本」の千葉県を目指して

千葉県知事 森田 健作

明けましておめでとうございます。

千葉県交通安全協会並びに各地区交通安全協会の皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

また、皆様には、日ごろから交通事故防止に向け、地域に密着した各種の交通安全活動に御尽力いただいていますことに、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年（平成26年）の交通事故による死者数は、182人と一昨年より減少させることができました。これも皆様方をはじめとする関係各位の御尽力の賜物であり、あらためて深く感謝申し上げます。

しかし、未だに多くの尊い命が交通事故によって奪われており、本県が交通死亡事故多発県であるという状況に変わりはありません。

昨年の交通事故死者数の約5割は65歳以上の高齢者が占め、うち約6割は歩行中に被害に遭っています。また、昨年5月には、横断歩道を横断中の視覚障害者と介助者に、車両が衝突して両名ともお亡くなりになるという大変痛ましい事故も発生しています。

交通事故は人を傷つけ、時には尊い命を奪います。また、交通事故に遭わ

れた被害者の御家族の方々の心中を察しますと、「今年こそ交通事故のない、安全で安心して暮らせる千葉県を実現しよう」と思いを新たにす次第です。

本年も県では、「第9次千葉県交通安全計画」に基づき、四季の交通安全運動をはじめ、高齢者の交通事故防止対策、自転車安全利用に関する広報・啓発活動及び幼児から高齢者に至るまでの各段階に応じた実践的な交通安全教育など、各交通安全事業を積極的に推進してまいります。

交通事故を根絶するためには、日々、交通安全活動に御尽力いただいている関係機関・団体の皆様のお力添えが不可欠です。皆様には、悲惨な交通事故をなくすという強い信念のもと、幼児、児童、生徒等に対する交通安全教育や交通安全に関する広報・啓発活動、街頭指導活動など、地域に密着した交通安全活動を展開し、県民の方々の「安全・安心日本」の実現に向けて、なお一層の御尽力をいただきますようお願い申し上げます。

結びに、千葉県交通安全協会及び各地区交通安全協会のますますの御発展と、会員の皆様の御健勝、御多幸を祈念申し上げます。新年のあいさつといたします。



## 「安全・安心で思いやりのある交通社会」の実現に向けて

千葉県警察本部長 黒木 慶英

明けましておめでとうございます。

千葉県交通安全協会並びに各地区交通安全協会の皆様方におかれまして

は、御家族とともに輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

皆様方には、平素より警察業務各般にわたり深い御理解と御協力を賜り

# 平成 26 年中の 千葉県交通事故死者数 182人

## ※交通死亡事故の特徴

- 高齢者の死者が 95 人 (52.2%)
  - 歩行中死者が 87 人 (47.8%)
  - 前方不注意による事故が 72 件 (41.1%)
  - 夜間事故が 104 件 (59.4%)
- (※数値は速報値ですので、修正されることがあります)

発生状況	区 分	累 計	前年比
	発 生 件 数	19,705 件	- 1,762 件
	死亡事故件数	175 件	- 9 件
	死 者 数	182 人	- 4 人
	負 傷 者 数	24,525 人	- 2,330 人

(人)

死者の 状態別	区 分		累 計	前年比
	歩行者	その他		
歩行者	子 供	4	4	+ 1
	高 齢 者	54	54	± 0
	そ の 他	29	29	+ 9
自 転 車	子 供	0	0	- 2
	高 齢 者	13	13	- 5
	そ の 他	8	8	- 1
一 輪 車	若 者	5	5	- 1
	高 齢 者	10	10	+ 3
	そ の 他	17	17	- 5
四 輪 者	若 者	6	6	- 4
	高 齢 者	18	18	+ 3
	そ の 他	18	18	- 2
そ の 他		0	0	± 0

(人)

死者の多い都道府県	順位	区 分	累 計	前年比
	1	愛 知	204	- 15
2	神奈川	185	+ 17	
3	千 葉	182	- 4	
3	兵 庫	182	- 5	
5	埼 玉	173	- 7	
6	東 京	172	+ 4	
7	北 海 道	169	- 15	
8	福 岡	147	+ 2	
9	大 阪	143	- 36	
9	静 岡	143	- 41	

※全国の死者 4,113 人 (前年比-260 人)

ますとともに、交通安全意識の普及高揚に向けて、地域に密着した交通安全活動に御尽力されておりますことに対し、厚く御礼を申し上げます。

さて、千葉県における平成26年中の交通事故情勢につきましては、死者数182人と、残念ながら抑止目標としていた「アンダー170」を達成には至りませんでした。一昨年と比べ発生件数、死者数及び負傷者数をいずれも減少させることができませんでした。こうした成果は、皆様を始めとする関係者の方々の御尽力の賜と深く感謝申し上げます。

昨年の死亡事故の特徴を見ますと、死者に占める高齢者の割合が全体の半数以上にのぼり、その約6割が歩行中の事故で亡くなられています。また、四輪・二輪乗車中の死者は、いずれも一昨年と比べて減少する中、高齢者による事故については増加しております。これら死亡事故の大半が車両運転者の考え事や脇見による前方不注意、漫然運転等によるものであります。依然として飲酒運転などの悪質・危険な違反による事故も後を絶っておりません。

県警といたしましては、こうした県下の交通事故発生実態を踏まえ、高

齢者の保護・誘導活動、安全運転の徹底に向けた広報啓発活動、飲酒運転根絶のための取締り等、諸対策を強力に推進してまいります。

加えて、本年は社会問題化している自転車の危険な利用を正すため、信号無視などの悪質な違反行為を反復して行った自転車運転者に対して講習の受講を義務付ける自転車運転者講習制度が6月13日までに施行されることとなっております。

こうした新たな制度を含め、交通法規の周知とその徹底に努めるとともに、本年は、交通事故の犠牲者を確実に減少させることを目標とし、中長期的な視点に立って第9次千葉県交通安全計画にある「交通事故死者数150人以下」を目指していくこととしました。

皆様方におかれましても、現下の交通情勢を御理解の上、「安全・安心で思いやりのある交通社会」の実現に向けて、地域における交通安全活動の中心的存在として引き続き御尽力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、千葉県交通安全協会並びに各地区交通安全協会の益々の御発展と、会員の皆様方の御健勝を心から祈念申し上げます。

平成26年度  
交通指導員研修会を開催

(公財)千葉県交通安全協会が主催する平成26年度交通指導員研修会が、12月中、鴨川市、東金市、松戸市、市原市の4会場で開催されました。

交通指導員は県内で3000人を委嘱しており、この研修会は、新任の交通指導員が、交通事故防止活動の基本理念を理解し、街頭活動要領等を実践的に学ぶことを目的に毎年開催されているものです。研修内容としては、主催者及び各主催地交通安全協

会長挨拶、県協会総務部長による「交通指導員の任務及び活動要領」、県警交通総務課担当官による「街頭活動要領」のほか横断旗を使って横断歩道を安全に横断させる動作を学びました。

各会場とも、最後に幹事協会からの活動事例発表などを行い、交通事故防止活動を行う地域のリーダーとして、約450人が熱心に学びました。



研修会における県協会椎名専務理事の挨拶  
(12月2日・鴨川会場)



千葉県警察本部担当官による交通安全活動の実施要領の講話  
(12月3日・東金会場)



横断旗の使い方を学ぶ交通指導員  
(12月12日・市原会場)



交通指導員による事例発表  
(12月9日・松戸東金会場)

平成27年使用  
交通安全年間スローガン

◆ 運転者(同乗者を含む)へ呼びかけるもの

🏆 最優秀作	早めから つけるライトで 消える事故	兵庫県	村岡孝司
🥈 優秀作	思いやり ゆとりは無事故へ つづく道	新潟県	森山勉
🥉 優秀作	シートベルト 締めれば安全 家族は安心	静岡県	平野雅之

◆ 歩行者・自転車利用者へ呼びかけるもの

🏆 最優秀作	外出は 明るい笑顔と 反射材	高知県	濱渦幸嗣
🥈 優秀作	横断は いくつになっても 右左	愛知県	夫馬文雄
🥉 優秀作	自転車は ルールとマナーが 両輪です	奈良県	土佐孝則

◆ こどもへ交通安全を呼びかけるもの

🏆 最優秀作	ルールむし しん号むしは わるいむし	静岡県	後藤悠仁
🥈 優秀作	ひとりでも まもるよやくそく みぎひだり	静岡県	長田侑里乃
🥉 優秀作	飛び出すな 向こうに友達 見つけても	富山県	豊岡鉄也
🥉 優秀作	子どもでも 自転車のったら 社会人	静岡県	山田優妃

賛助会員の紹介

このコーナーでは、(公財)千葉県交通安全協会の交通安全活動に賛同し、賛助会員としてご協力いただいている企業等をご紹介します。(敬称略)

- 千葉信用金庫 (千葉市中央区)
- 双葉電子工業株式会社 (茂原市)
- 税理士法人 千葉中央会計事務所 (千葉市中央区)
- 株式会社 新昭和 (君津市)
- 株式会社 千葉ステーションビル (千葉市中央区)
- 東日本旅客鉄道株式会社 千葉支社 (千葉市中央区)

発行 公益財団法人千葉県交通安全協会  
ホームページアドレス  
<http://www.chiba-ankyo.or.jp>

千葉市美浜区浜田2丁目1番  
千葉県警察本部交通部運転免許本部内  
電話 043-271-8481

